

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告

実施自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
34304海田町	②学校と地域の課題	02 青少年の健全育成	・小学生及び中学生の放課後における多様な体験活動体験が少なくなっている。 ・地域支援スタッフの担い手が不足している。特に学びの広場において担い手が不足している。	・引き続き、放課後子供教室を地域支援スタッフにより2種類(定期プログラム及び学びの広場)行う。また、学びの広場「特別プログラム」として冬休みに書初め教室を行う。 ・令和7年度から新たに中学生を対象とした地域未来塾を開催する。 ・継続して支援スタッフを広報やホームページ等で募集する。	・引き続き、放課後子供教室を地域支援スタッフにより2種類(定期プログラム及び学びの広場)行う。また、学びの広場「特別プログラム」として書初め教室を行う。 ・新たに小中学生を対象とした地域未来塾を夏休みに開催する。 ・継続して支援スタッフを広報やホームページ等で募集する。 ・児童の感想や希望を把握するため、アンケート調査を実施する。	放課後子供教室(定期プログラム、学びの広場及び特別プログラム)及び地域未来塾の参加者数が増加する。	放課後子供教室及び地域未来塾の参加者数	R6実績：延べ3,832	人	4,570	4,257	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた ○昔の遊び・工作「定期プログラム」 令和7年度は延べ1,530人が参加し、前年度の1,601人と比較して71人減少した。 実施については、月1回、運営スタッフと内容や開催場所などについての運営会議を行い、スタッフの意見も取り入れながら教室を円滑に行うことができた。プログラムの内容等について、児童の感想や希望を把握するため、アンケート調査を実施し、次年度以降の参考とした。 プログラムや実施場所の検討を行う等、参加者増を図っていきたい。 ○学習支援「学びの広場」 「わかるって たのしい」のキャッチフレーズのもと、経験豊富な学習支援スタッフが指導にあたり、令和7年度は海田児童館及び海田東児童館(町民センター)の2か所で年87回実施することができた。延べ2,444人が参加し、前年度の2,231と比較して213人増加した。 実施については、海田児童館及び海田東児童館(町民センター)と連携しながら教室を円滑に行うことができた。 ○学習支援(学びの広場 特別プログラム 書初め教室) 初めての試みとして冬休みに、小学3年生から6年生を対象に書初め教室を行った。参加者は8人と少なかったものの、基本的な習字道具の扱い方から「はね・とめ」等、書初めのポイントを学ぶことができた。 ○地域未来塾 今年度から中学生までを対象に、夏休みに14日間行った。延べ283人(小学生277人・中学生6人)の参加があった。夏休み後半の参加者は少なかったため、期間を夏休み始めからお盆までの開催するとともに、中学生の参加者が増加するように周知を図りたい。 今後小中学生が興味を持てる内容を実施することで参加者の増加を図っていきたい。 支援スタッフの募集を広報やホームページ等に掲載したことで、スタッフの人数は増えた。 今後は、興味を持てる内容を実施することで、参加者の増に務めるとともに、協働活動支援員の確保に務める。	・主要施策の成果に関する説明書 ・海田町教育委員会点検・評価報告書